

民主こうべ政策議員団 News

〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

平成26年第1回定例会市会(2月19日～6月26日)が開会され、2月議会が始まりました。平成26年度当初予算並びに関連議案について、民主党神戸市会議員団を代表して、川原田弘子議員が市長・副市長に対して代表質疑を、各局に対する質疑を行う予算特別委員会を経て、川内きよなお議員が総括質疑を、池田りんたろう議員が一般質問を行いました。

平成26年第1回定例会市会 2月議会 代表質疑

医療産業都市・創薬拠点について

Q 「創薬拠点」の整備について、国家戦略特区の中での位置づけと、どのような設備か？また、エクサスケールスパコンに対する計画は？

A 国家戦略特区において、スパコン「京」やSpring8(スプリング8)、SACLA(サクラ)などを活用することにより、早期に低コストで「革新的医薬品」を開発・生産することができる技術基盤の確立を提案している。現在、企業進出が進み、製薬企業が入居するラボが少なくなってきたため、ラボビルとして整備する。

平成26年度の国の予算に次期スパコンとして12億円計上された。理化学研究所計算科学研究機構より、開発に向けた支援要請も受けており、神戸での立地におおいに期待したい。このラボビルにエクサスケールスパコンの研究開発チームの入居も想定している。

※エクサスケール・スパコン…エクサは、京の100倍の単位。スパコン「京」の100倍程度の早さのスパコンの開発を目指す。

メリデン・ファミリープログラムについて

Q メリデンファミリープログラムは、イギリスで進められている精神疾患の治療方法のひとつ。効果も高いので神戸でモデル導入してはどうか？

A 本人と家族を支援する方法と聞く。家族と共に学ぶことで再発のサインを共有したり、回避方法を相談するなどの手法であり、近年注目されている。まずは、研修会に専門職員を参加させ、見識を深めてから導入について検討したい。



学校図書館の活用による読書推進について

Q 今年度、専門司書が30校に導入されることとなり、大変期待している。まずは、子ども達や先生とのコミュニケーションを築いて、授業や学校生活に溶け込ませることが必要。研修や一緒に話し合う時間も必要ですが？

A 学校図書館には、読書センター、学習・情報センターのほかに、児童生徒の心の居場所の役割がある。学校司書が常時図書館にいて、いつでも図書館を利用でき、読書相談ができる。また、「図書館の先生」として児童生徒を見守ってくれる。司書には配置後も研修を行い、学校司書同士のつながりも作る。配置校には校長などに学校図書館の機能などの研修を行う。読書に親しむことで豊かな人間性を育てていく。



副議長
さきもと 祐治(須磨区)



伊藤めぐみ(北区)



平木ひろみ(中央区)



川内きよなお(垂水区)



大井としひろ(須磨区)



たじ裕規(灘区)



副政調会長
人見誠(北区)



副幹事長
大寺まり子(兵庫区)



相談役
藤原武光(垂水区)



政調会長
岩田よしあき(西区)



幹事長
川原田弘子(垂水区)



団長
池田りんたろう(北区)

皆様へ

このたびは、民主党に所属する左記メンバー12名で、政策調査活動により重点をおいた活動を行っていかため、新しい会派「民主こうべ政策議員団」を結成いたしました。変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。